

AIとの共創で発明を加速する：Gemini 3 Deep Think 発明パイプライン

なぜGemini 3は
「発明」できるのか？
コアとなる3つの能力



「熟慮的思考（System 2）」の実装
即座に回答せず「思考時間」を確保し、
複数の仮説を並列で生成・自己検証する。

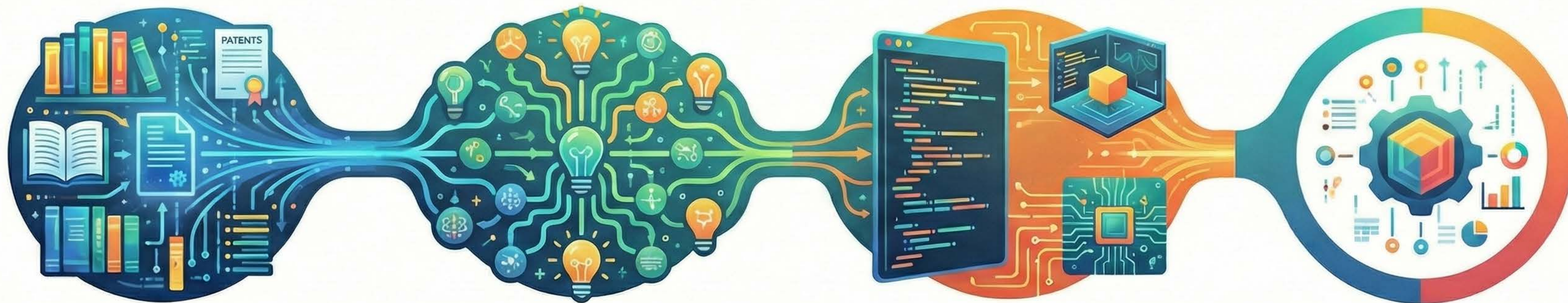


圧倒的な「未知への推論能力」
人類の知識の最前線を問うベンチマーク
(HLE, ARC-AGI-2) で他を凌駕。



アイデアを即座に「具現化する力」
「Vibe Coding」機能により、曖昧な指示や
スケッチから動くプロトタイプを生成。

4段階の発明パイプライン



フェーズ1：Deep Research (探索と定義)

膨大な論文や特許を調査させ、既存技術
の限界と未解決の問題点を特定する。

フェーズ2：Deep Think (並列思考と仮説生成)

第一原理思考やTRIZ等のフレームワークを
用い、常識を覆す解決策を被数考案させる。

フェーズ3：Vibe Coding (プロトタイピングと検証)

生成した仮説を即座にコードやシミュレーショ
ンに変換し、実現可能性を集早く検証する。

フェーズ4： 再帰的な改善ループ

検証結果をフィードバックし、AIと対話しな
がら発明の精度を指数関数的に向上させる。